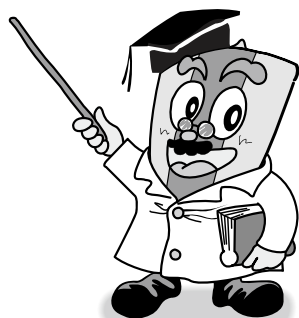
# 取扱説明書

ユノカエコキュート
Yunoka

## 自然冷媒$CO_2$
## 家庭用ヒートポンプ給湯機
### 給湯専用タイプ

■季時別電灯（通電制御型）
■時間帯別電灯（通電制御型）
■ピークシフト電灯（通電制御型）

No.351

高圧力型

| システム品番 | YU37NNFH-M17（タンク容量:370L） |
|---|---|
| 貯湯ユニット品番 | YTK37NB13 |
| ヒートポンプユニット品番 | YHD45N12 |

| システム品番 | YU46NNFH-M18（タンク容量:460L） |
|---|---|
| 貯湯ユニット品番 | YTK46NB13 |
| ヒートポンプユニット品番 | YHD60N12 |

このたびは、ユノカエコキュートをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、ただしくお使いください。そのあとは、必要なときにいつでもお読みになれるよう大切に保管してください。

●保証書は「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめて、販売店（据付工事店）からお受け取りください。
●この給湯機は『季時別電灯契約』、『時間帯別電灯契約』、『ピークシフト電灯契約』専用です。『深夜電力Ｂ契約』ではご使用になれません。

もくじ

# 安全上のご注意　必ずお守りください

ご使用の前にこの欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。 |
| ⚠注意 | 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。 |

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

| | |
|---|---|
| 🚫 | 禁止 |
| | 分解禁止 |
| | 接触禁止 |

| | |
|---|---|
| | アース線接続 |
| ❗ | 指示にしたがう |

## ⚠警告

やけど注意

### 熱湯や熱くなる部分に触れない

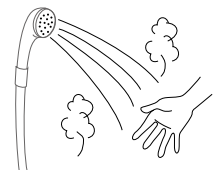
やけどの原因となります。

- 給湯時は湯水混合栓に触れない
- 排水時はお湯に触れない
- ヒートポンプ配管や給湯配管に触れない
- 逃し弁点検時は配管に触れない（→32ページ）

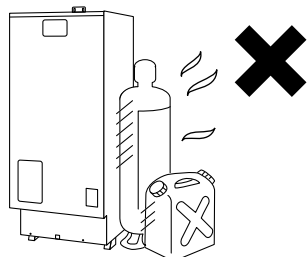
確認

### お湯を使用するときは、お湯の温度を確かめる

やけどの原因となります。

- 入浴時やシャワーなどお湯を使用するときはお湯の温度を確かめる
- 給湯温度の変更は、他の蛇口の使用状況を確認してから行なう（→16ページ）

禁止

### 近くにガス類や引火物を置かない

発火により、火災になることがあります。

禁止

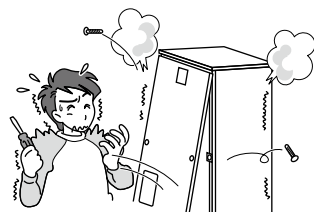
### 誤った取扱いをしない

けがの原因となります。
特にお子様にはご注意ください

- ヒートポンプユニットの蒸発器のフィンに触れない
- ヒートポンプユニットの空気吸入口や吹出口に棒や手を入れない
- 上に乗ったり、物を載せたりしない（ベランダなど高い場所に設置している場合は、落下や転倒により思わぬ事故を起こすことがあります。）

禁止

### 貯湯ユニットの前面カバーやヒートポンプユニットのカバーを開けない

やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

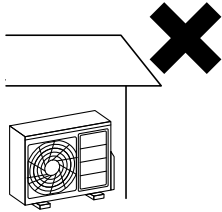
### 分解・改造・修理をしない

やけど、けが、感電、火災の原因となります。
修理技術者以外の人は修理しないでください。
修理は販売店（据付工事店）へお問合せください。

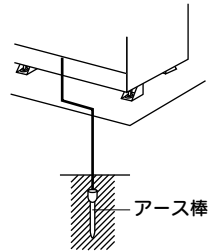
# ⚠警告

禁止

## ヒートポンプユニットを屋内に設置しない

万一冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳障害など）に至ることがあります。

アース工事

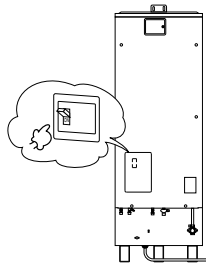
## アース工事を確認する

故障や漏電のときに感電することがあります。

アースの取付は、販売店（据付工事店）へお問合せください。

アース工事

## 漏電しゃ断器の動作を確認する（→31ページ）

故障や漏電のときに感電することがあります。

動作しないときは、販売店（据付工事店）へお問合せください。

確認

## 異常時は、漏電しゃ断器を「切」にして直ちに使用を中止する

異常のまま使用すると故障、感電、火災、けがの原因となります。

＜異常例＞

- こげ臭い
- 設置場所が濡れている
- 漏電しゃ断器が「切」になる
- お湯が早くなくなる
- その他の異常や故障がある

お買い上げの販売店（据付工事店）へお問合せください。

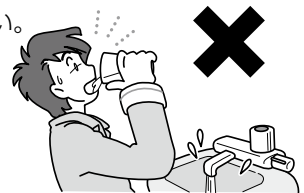
# ⚠注意

禁止

## そのまま飲用しない

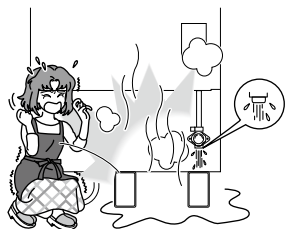
長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。
飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- 必ず水質基準に適合した水を使用する
- 熱いお湯が出てくるまでの水は、雑用水として使用する

固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行なってください。

禁止

## タンクのお湯を直接排水しない

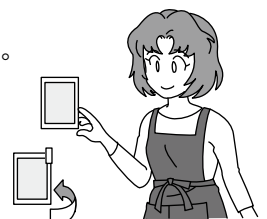
やけどすることがあります。
排水管など、配管を破損することがあります。

タンクを水にしてから排水してください。

確認

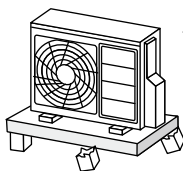
## 逃し弁点検窓、操作カバーは閉じる

雨水やごみが入り、漏電や感電することがあります。

# ⚠注意

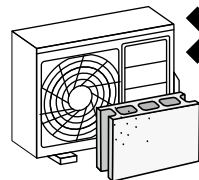
禁止

## ヒートポンプユニットの架台が破損したまま使用しない

落下、転倒により、
けがをすることがあります。

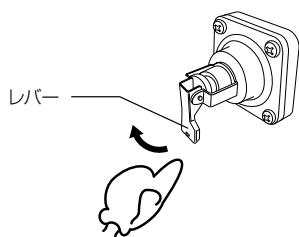
禁止

## ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かない

性能の低下や故障の原因
となります。

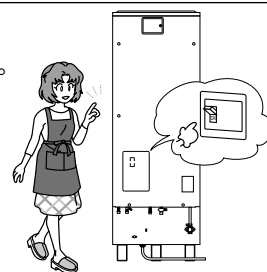
積雪時は、除雪してください。

点検

## 逃し弁の点検をする（→32ページ）

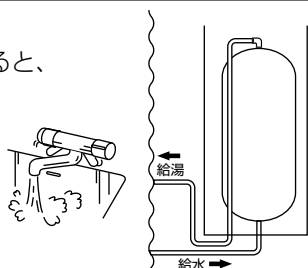
タンクや配管が破損したり、
逃し弁の水漏れにより
やけどすることがあります。

確認

## 1か月以上使用しないときは、電源を「切」にして、タンクの排水をする（→27ページ）

水質が変化することがあります。

確認

## 通電はタンクを満水にしてから行なう（→9ページ）

満水にしないまま通電すると、
故障の原因となります。

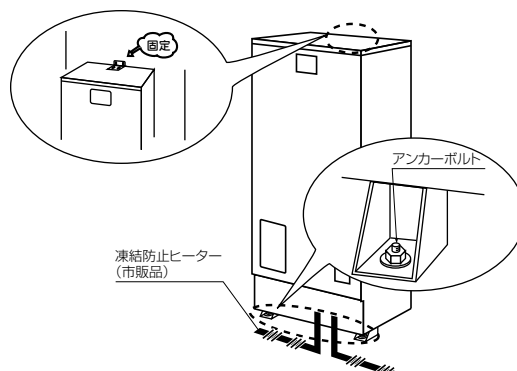
禁止

## 配管、電気配線に無理な力を加えない

破損により、やけど、けが、感電、
火災の原因となります。

確認

## 据付けを確認する

- ２階以上に据付けた場合、上部振れ止め金具が壁に固定されているか確認する
（本体が転倒し、けがをすることがあります）
- 脚（３箇所）がアンカーボルトで固定されているか確認する
（転倒により、本体が倒れてけがをすることがあります）
- 凍結防止対策を確認する（→29ページ）
（タンクや配管が破損したり、水漏れにより
やけどすることがあります。）
- 床面が防水・排水処理されているか、 据付工事店に確認する
（水漏れが起きたときに大きな損害につながることがあります）

お買い上げの販売店（据付工事店）へお問合せください。

# ご使用にあたってのお願い

## 電力契約種別を確認する

この商品は、「季時別電灯」または「時間帯別電灯」契約専用の給湯機です。ご使用の電力契約種別を販売店（据付工事店）または最寄りの電力会社に、ご確認ください。

※深夜電力Ｂ契約ではご使用いただけません。

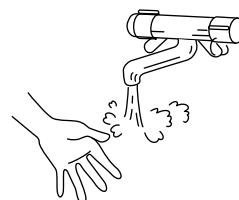
## リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻が進んだり遅れたりした場合は、台所リモコンで時刻を合わせ直してください。（→11ページ）

時刻がずれていると、タンク内を沸上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金は割高になります。

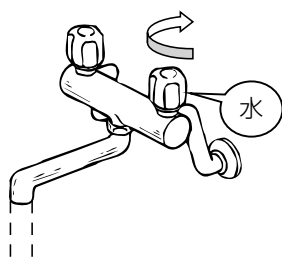
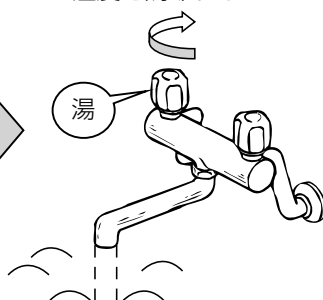
## お湯の上手な使い方

●シャワーは必要なときだけ

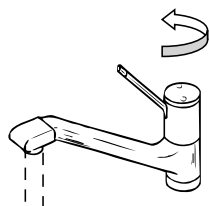
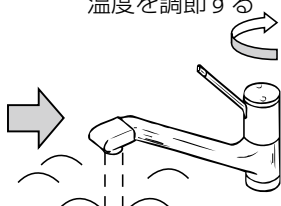
●流し洗いはぬるめの温度で

## お湯の使い方についてのお願い

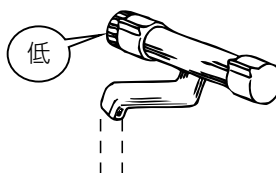
湯水混合栓からお湯を出すときは、必ず水を出しながらお湯を出してください。
（やけどをしたり、洗面器などが破損することがあります）

２バルブタイプの場合

①水側を開ける

②吐水しながら、湯側を開けて温度を調節する

２バルブタイプの湯水混合栓を使用した後は、必ず湯側を先に閉める。
（再度、湯水混合栓を使用する際にお湯が出て、やけどをすることがあります）

シングルレバータイプの場合

①レバーを水側にまわしてから開ける

②吐水しながら、レバーを湯側に回し、温度を調節する

サーモスタットタイプの場合

①温度調整つまみを「低」にしてから給湯つまみを開ける

②吐水しながら、温度調節つまみを「高」に回し、温度を調節する

# 各部のなまえとはたらき

## 貯湯ユニット

レバー
逃し弁

**上部振れ止め金具**
外筒の振れによる転倒を防止する為の金具です。

**逃し弁点検窓**
逃し弁の点検をするときに使用します。

**前面カバー**
工事や点検の時だけ取りはずします。内部に充電部分があって危険ですので、お客さまは絶対に取りはずさないでください。

**漏電しゃ断器**
万一漏電したときに作動して電源回路をしゃ断します。使用中はレバーを「ON」にしておいてください。

電源レバー
テストボタン（→31ページ）
ON
OFF
漏電しゃ断器

**品番･製造番号表示**
製品の品番･製造番号が記載されています。

**操作カバー**

**排水栓**

**ヒートポンプ配管口**

**非常用取水栓**
非常時にタンクの湯（水）を生活用水（飲用は不可）として利用できます。（→28ページ）

**排水配管口（膨張水、排水口兼用）**
お湯を沸かす時の膨張水とタンクの湯（水）を排水するためのものです。

**アース端子**

**脚**

**給湯配管口**

**排水パンホース**
万一の水漏れの場合は、ここから排水します。

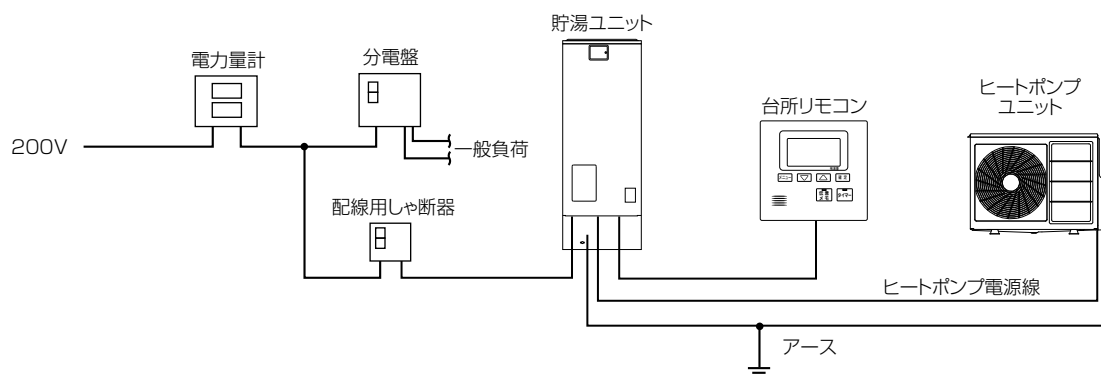
**給水配管口**

## ヒートポンプユニット

# 配管例

# 配線例

※配線は、契約した電力制度で異なります。電力制度については、販売店（据付工事店）にご確認ください。

■「季時別電灯／時間帯別電灯／ピークシフト電灯」（通電制御型）

# 各部のなまえとはたらき

## 台所リモコン

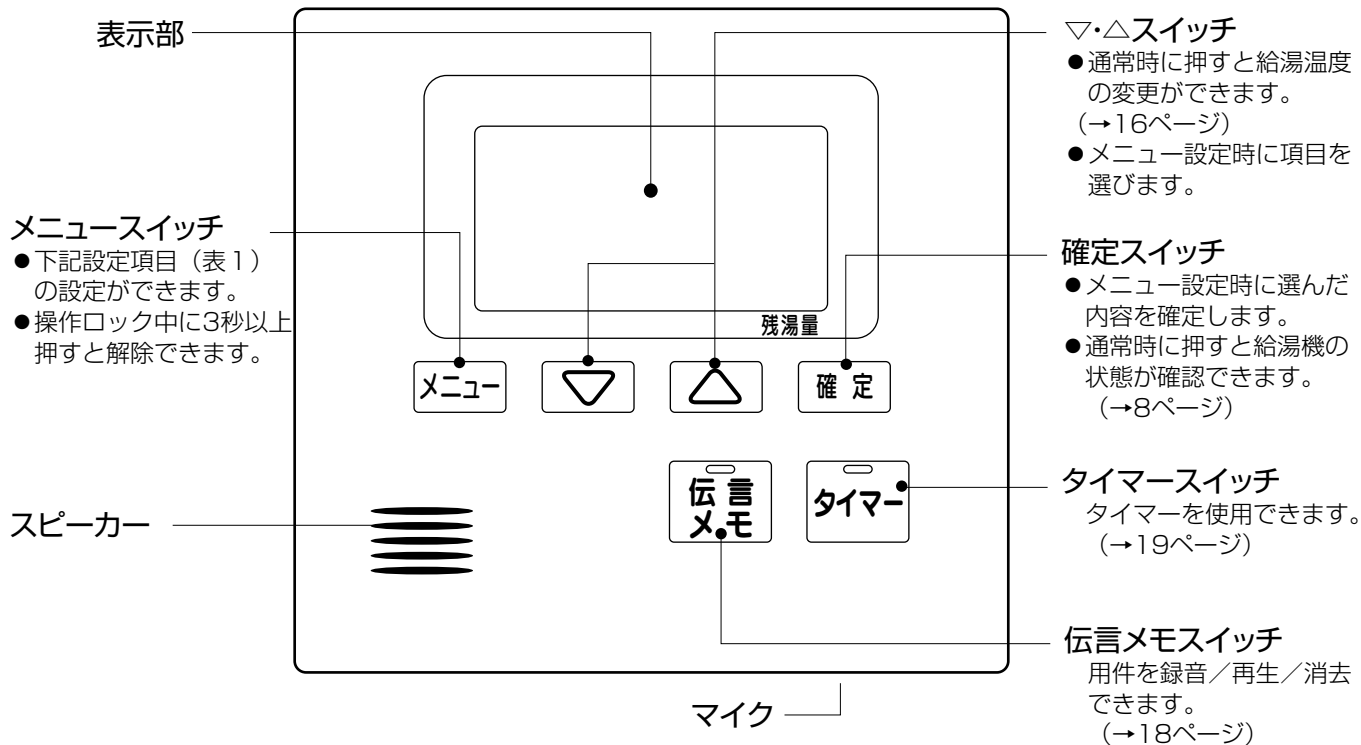



表1　●メニュースイッチ設定項目表

| 設定項目 | 選択範囲 | 初期値 | ページ |
|---|---|---|---|
| ①強制沸増し | 少量／全量／切 | 切 | 13 |
| ②湯沸し | 標準／節約／最高／最低 | 節約 | 15 |
| ③自動沸増し | 多め／ふつう／少なめ／切 | 少なめ※1 | 14 |
| ④操作ロック | （入／切） | （切） | 22 |
| ⑤停止日数 | 0〜15日（1日刻み） | 0 | 26 |
| ⑥その他設定 | | | |
| ●リモコン設定 | | | |
| ①音声案内設定 | 入／切 | 入 | 22 |
| ②音量設定 | 1（小）／2（中）／3（大） | 2 | 23 |
| ③コントラスト設定 | −3（薄）〜+3（濃） | 0 | 24 |
| ④表示節電設定 | 入／切 | 入 | 25 |
| ●日時設定 | | | 11 |
| ●電力契約設定 | 季時別／時間帯別／時間帯別8 ピークシフト | 季時別 | 12 |
| ●ピークカット設定 | 0:00〜23:00 | 切※2 13:00〜16:00※3 | 17 |
| ●湯量通知設定 | 定量止水栓／連続出湯量／切 | 切 | 20·21 |
| ●HP空気抜き運転 | 入／切 | 切 | 10 |
| ●凍結防止運転 | 入／切 | 入 | 29 |

※1 最初の電源投入時は「切」となっていますが、最初の深夜湯沸しが開始されると、自動で「少なめ」に設定されます。
※2 初回の電力契約設定で「ピークシフト」以外を選択した場合の初期値は「切」となります。
※3 電力契約設定で「ピークシフト」を選択した場合はピークカットが設定されます。

**お願い** 台所リモコンは、防水タイプではありません。水をかけないでください。故障の原因になります。

**お知らせ** メニューを表示しているときは、メニュー機能以外の操作ができません。

# 台所リモコン表示部

説明のため、画面は必要な箇所を表示させてあります。

## ●通常時の表示

12:01 給湯温度 沸上中
高温 注意 60℃

**現在時刻表示**
現在時刻を表示しています。

**高温注意表示**
給湯温度が60℃に設定されると表示します。

**給湯温度表示**
設定された給湯温度を表示します。

**沸上中表示**
沸上げ中に表示します。

**操作ロック表示**
操作ロックが設定されると表示します。

**出湯表示**
給湯（蛇口・シャワー）が使用されていると表示します。

**残湯量表示**
給湯機の残湯量を表示します。

| 表示 | 残湯量（目安）（43℃換算値） |
|---|---|
| | 500L以上 |
| | 400L以上 |
| | 300L以上 |
| | 200L以上 |
| | 100L以上 |
| | 100L未満 |

●残湯量は「給湯温度43℃設定で出湯可能な湯量」を表します。
●残湯量が100L未満になると、「給湯温度」を表示している箇所に「残湯注意」が表示され、ブザーで1回お知らせします。

**お知らせ**
●湯沸し設定を「標準」または「節約」でご使用の場合は、お湯の使用量が少ないときに翌朝の残湯量表示が全て表示しないことがあります。（「標準」または「節約」設定は、必要な分だけしかお湯を沸しません。）
●お湯を使用していないときでも、タンク内の温度状態や放熱により、残湯量表示が減ることがあります。

## ●使用湯量履歴の表示

「確定」スイッチを3秒長押しすると過去1週間の使用湯量履歴がグラフ表示されます。（43℃換算値）

## ●タンク情報表示

●「確定」スイッチを押すと貯湯タンクの情報が表示されます。
●表示中に「メニュー」スイッチを押すと、通常時の表示に戻ります。

タンク湯温　86.0℃
使用可能湯量　230L
当日使用湯量　100L
戻る　少沸　全沸

**タンク湯温表示**
現時点のタンク上部湯温を表示します。

**使用可能湯量表示**
現時点の使用可能湯量（43℃換算値）を表示します。

**当日使用湯量表示**
現時点での当日使用湯量（43℃換算値）を表示します。

**ソフトスイッチ**
タイマー設定、強制沸増し（全量、少量）が設定できます。

# 準備

使い始めは、次の手順で操作します。
販売店（据付工事店）が準備作業を実施されているときは、必要ありません。

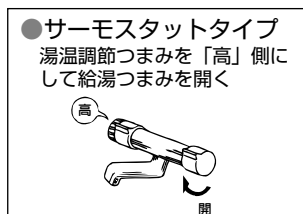
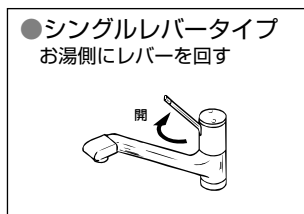
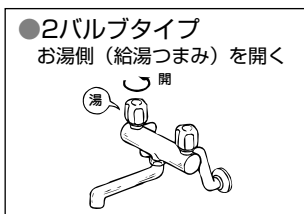
## 1.給湯機のタンクを満水にする

①給湯機の排水栓を閉じる（→5ページ）
②逃し弁のレバーを上げる（→5ページ）
③給湯機専用止水栓を開く（→6ページ）
タンクが満水になると排水口から水が出ます。
満水になるまでの目安の時間は約30分～40分です。
（タンク容量や水圧により多少異なります。）

④満水になったら、逃し弁のレバーを下げる（→5ページ）
満水になったら、しばらく流し洗いをして、逃し弁のレバーを下げます。
⑤給湯つまみ（レバー）を開いて、水が出ることを確認する
操作方法は湯水混合栓のタイプによって異なります。

●2バルブタイプ
お湯側（給湯つまみ）を開く

●シングルレバータイプ
お湯側にレバーを回す

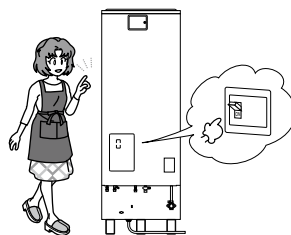
●サーモスタットタイプ
湯温調節つまみを「高」側にして給湯つまみを開く

## 2. ヒートポンプユニットの空気を抜く

①ヒートポンプユニットのメンテナンスカバーをはずす
②ヒートポンプユニットの熱交水抜き栓を開き､空気を抜く(→5ページ)
※2分以上、十分に空気が抜けるまで行なってください。
③ヒートポンプユニットのB側水抜き栓を開き､空気を抜く(→5ページ)
※Ａ側水抜き栓を開かないでください。
④空気抜き作業を終えたら水抜き栓を全て閉じる
⑤ヒートポンプユニットのメンテナンスカバーを取り付ける

## 3. 給湯機の電源を入れる

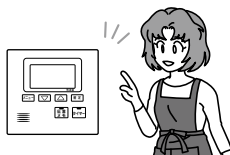
①配線用しゃ断器を「ON」にする

⚠ 注意
通電はタンクを満水にしてから行なってください。

②貯湯ユニットの操作カバーをあけ、漏電しゃ断器の電源レバーを「ON」にする

⚠ 注意
操作カバーは閉じておいてください。
ショート・感電することがあります。

## 4. 台所リモコンでヒートポンプユニットの空気抜き運転をする（→10ページ）

## 5. 台所リモコンで給湯機の設定をする

①日時を合わせる（→11ページ）
②電力契約モードを設定する（→12ページ）
③湯沸しモードを設定する（→15ページ）

## 6. お湯を使う

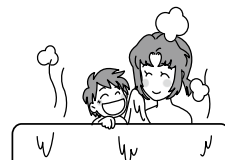
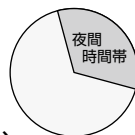
お湯は翌朝から使用できます。やけど防止のため、湯水混合栓の湯温調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開きお湯を使用します。

### 入浴時のお願い

入浴は、できるだけ夜間時間帯（リモコンの「沸上中」が表示されているとき）を避けて連続して行なうようにしてください。

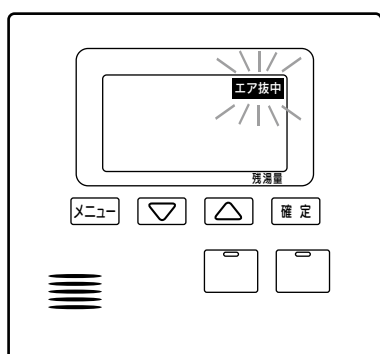
夜間時間帯にお湯を使うと、翌日の湯温が低くなり、お湯がたりなくなることがあります。

夜間
時間帯

夜間時間帯は、
地域によって異なります。

# 空気抜き運転をする

ヒートポンプユニットの内部に溜まっている空気を抜きます。
初めてご使用になるときや、一旦貯湯ユニットの水を抜いて再び満水にしたときに使用します。

| お買い上げ時の設定･･･切 |
| --- |
| 選べる設定･･････････････切／入 |

台所リモコン

＜設定方法＞

1 通常時の表示のときに

を押す

＜表示内容＞

2 

を5回押して「その他設定」に合わせ

を押す

＜表示内容＞

3 

を６回押して「ＨＰ空気抜き運転」に合わせ

を押す

＜表示内容＞

4 

で「入」を選び

＜表示内容＞

HP空気抜き運転
▶入
切
戻る ▼ 確定

を押す

＜解除方法＞

1 設定方法の項目１から項目３を行なう

2 で「切」を選び

を押す

＜表示内容＞

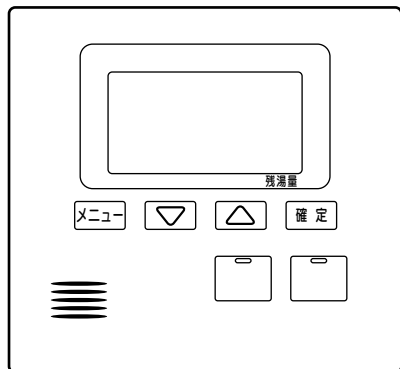
HP空気抜き運転
入
▶切
戻る ▲ 確定

**お知らせ**

- ●空気抜き運転中は台所リモコンの通常時の表示に「エア抜中」が点灯します。
- ●空気抜き運転は約10分動作し、自動的に停止します。
- ●空気抜き運転が終了すると、メロディーと音声（ヒートポンプの空気抜き運転が完了しました）でお知らせします。
- ●沸上げ中に空気抜き運転を開始すると、空気抜き運転を終了してから、沸上げを開始します。
- ●空気抜き運転中に沸上げを開始すると、空気抜き運転を終了してから、沸上げを開始します。
- ●「メニュー」スイッチを押すたびに前回表示していた画面へ戻り、通常時の表示まで戻ることができます。
- ●スイッチが1分以上押されないときは、通常時の表示に戻ります。

# 日時を合わせる

給湯機のお湯を沸かすために日時を合わせます。
時刻を設定しないと、沸上げできない場合があります。
また、時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。

台所リモコン

**1** 通常時の表示のときに
メニュー を押す

<表示内容>

**2** ▽ を5回押して「その他設定」に合わせ

<表示内容>

確定 を押す

**3** ▽ を１回押して「日時設定」に合わせ

<表示内容>

確定 を押す

**4** ▽ △ で「年」・「月」・「日」・「時」・「分」を合わせ

<表示内容>

日時設定
2014 年 3 月 1 日
19：00
戻る ▼ ▲ 次へ

それぞれ合わせたあとに

確定 を押す

※それぞれ合わせた後に、確定スイッチを押さなければ、次に進みません。
※「分」を合わせ確定スイッチを押すと設定を完了し、もとの画面に戻ります。

**お願い**

- 時計の精度は、月差で約１分間です。時刻が進んだ場合や遅れた場合は、時刻を合わせ直してください。正しく合わせても大幅に時刻がずれてしまう場合は、販売店（据付工事店）にご連絡ください。
- １週間以上停電があった場合や電源を「OFF」にしていた場合、表示部は「--：--」が点滅する場合がありますので、必ず時刻を合わせ直してください。

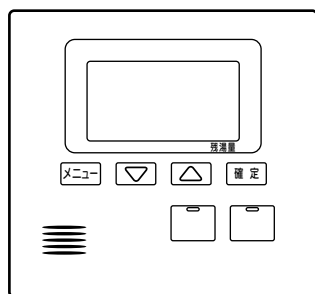
**お知らせ**

- 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12：00」を夜の12時の場合は「0：00」を表示します。
- 「メニュー」スイッチを押すたびに前回表示していた画面へ戻り、通常時の表示まで戻ることができます。
- スイッチが1分以上押されないときは、通常時の表示に戻ります。

# 電力契約モードを合わせる

電力契約の種類によって深夜時間帯および安価な時間帯が異なります。
電気料金を抑えるため、ご契約に合う電力契約に設定してください。

| お買い上げ時の設定……季時別 |
|---|
| 設定できる電力契約……季時別<br>時間帯別<br>時間帯別8<br>ピークシフト |

台所リモコン

電力契約モードの内容（2013年12月現在）

**季時別**

0時　8時　10時　17時　22時　24時

| 深夜時間 | リビング朝晩 | 昼間時間 | リビング朝晩 | 深夜時間 |
|---|---|---|---|---|

●九州電力：季時別電灯契約

**時間帯別**

0時　8時　22時　24時

| 深夜時間 | 昼間時間 | 深夜時間 |
|---|---|---|

●九州電力：時間帯別電灯契約

**時間帯別8**

0時　7時　23時 24時

| 深夜時間 | 昼間時間 | 深夜時間 |
|---|---|---|

●九州電力：時間帯別電灯契約８時間型
（既に契約されているお客様のみ）

**ピークシフト**

0時　8時　13時　16時　22時　24時

| 深夜時間 | 昼間時間 | ピーク | 昼間時間 | 深夜時間 |
|---|---|---|---|---|

●九州電力：ピークシフト電灯契約

**お願い**

- 契約している電力制度種類および内容については電力会社にお問合せください。
- 各電力会社によって深夜時間帯の開始時間と終了時間が異なりますので、九州電力以外の季時別電灯契約、時間帯別電灯契約でご使用になる場合は「時間帯別８」を設定してください。

**お知らせ**

- 「メニュー」スイッチを押すたびに前回表示していた画面へ戻り、通常時の表示まで戻ることができます。
- スイッチが1分以上押されないときは、通常時の表示に戻ります。
- 電力契約モードを「ピークシフト」に設定した場合、ピークカットが設定されます。ピークカットをご利用にならない場合は設定を解除してください。（→17ページ）
- 初回に電力契約モードを「ピークシフト」以外を設定した場合はピークカットは「切」となります。
- 電力契約モードを変更される場合は、ピークカット設定の「入」「切」設定をご確認のうえご使用ください。（→17ページ）
- 電力契約モードを変更された場合、変更前のピークカットの内容が設定されたままとなります。

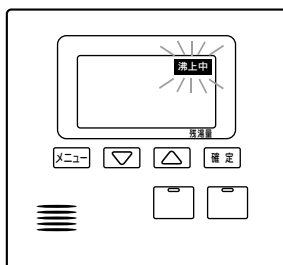
# お湯をたくさん使う（沸増し）

沸増しとは、急な来客などで普段以上にお湯を使うようなときに、給湯機内のお湯を沸上げ、湯切れを防止する機能です。沸増しには、設定された時にだけ強制的に沸増しする「強制沸増し」と、お湯が不足してきたらその都度自動的に沸増しする「自動沸増し」があります。

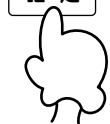
**お知らせ** ●深夜時間以外で沸増しを行なうと、電気料金が割高になります。

## 強制沸増しを設定する

| お買い上げ時の設定……切 |
|---|
| 設定できるモード………少量／全量／切 |

台所リモコン

**1** 通常時の表示のときに

メニュー を押し

確定 を押す

<表示内容>

**2** ▽ △ で強制沸増しモードを合わせ

確定 を押す

解除するときは、モードを“切”に合わせ確定を押す

<表示内容>

**お知らせ**
●「メニュー」スイッチを押すたびに前回表示していた画面へ戻り、通常時の表示まで戻ることができます。
●スイッチが1分以上押されないときは、通常時の表示に戻ります。
●沸上げ中は、台所リモコンの表示部に「沸上中」が表示されます。
●沸増しを『切』に設定していても凍結防止運転（→29ページ）が動作し、沸増し運転を行なうことがあります。
●通常時の表示のときに、確定スイッチを押した後に「▽」「△」スイッチを押しても強制沸増しの設定ができます。

【簡単な設定方法】

**1** 通常表示のときに、確定 を押す

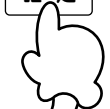
**2** ▽ △ を押すと強制沸増し（少量、全量）が設定される

※ ▽スイッチを押すと強制沸増し（少量）、△スイッチを押すと強制沸増し（全量）が設定されます。

<表示内容>

| タンク湯温 | 86.0℃ |
|---|---|
| 使用可能湯量 | 230L |
| 当日使用湯量 | 100L |
| 戻る 少沸 全沸 | |

【解除方法】

**1** 通常表示のときに、確定 を押す

**2** ▽ △ のどちらかのボタンを押すと解除される

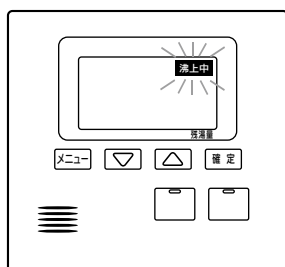
<表示内容>

| タンク湯温 | 86.0℃ |
|---|---|
| 使用可能湯量 | 230L |
| 当日使用湯量 | 100L |
| 戻る 沸増停止 | |

## 自動沸増しを設定する

| お買い上げ時の設定……少なめ※ |
|---|
| 設定できるモード………多め／ふつう／少なめ／切 |

※最初の電源投入時は「切」となっていますが、最初の深夜湯沸しが開始されると、自動で「少なめ」に設定されます。

台所リモコン

**1** 通常時の表示のときに

を押す

<表示内容>

**2**

を2回押して「自動沸増し」に合わせ

<表示内容>

確 定 を押す

**3**

で自動沸増しモードを合わせ

<表示内容>

を押す

解除するときは、モードを“切”に合わせ確定を押す

**お知らせ**

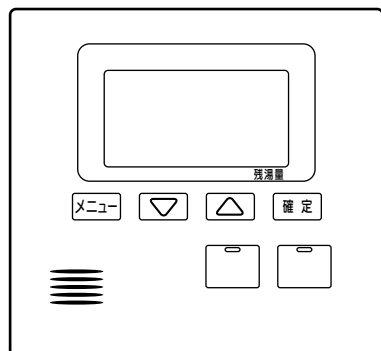
- 「メニュー」スイッチを押すたびに前回表示していた画面へ戻り、通常時の表示まで戻ることができます。
- スイッチが1分以上押されないときは、通常時の表示に戻ります。
- 沸上げ中は、台所リモコンの表示部に「沸上中」が表示されます。
- 沸増しを『切』に設定していても凍結防止運転（→29ページ）が動作し、沸増し運転を行なうことがあります。
- ピークカット設定で設定されている時間帯は「自動沸増し」運転は行ないません。

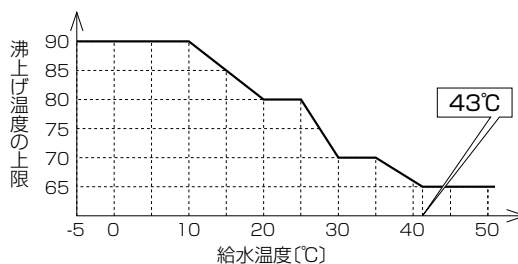
## 沸増しのしくみ

| 沸増しモード | | 動作内容 | 解除方法 |
|---|---|---|---|
| 強制沸増し | 少　量 | 少量(100L程度)の沸増しを、1回だけ行ないます。 | 手動での解除を行なうか、沸増しが終了すると自動で解除されます。 |
| | 全　量 | 設定した1日間は、常に貯湯タンクがお湯で満タンになるように、沸増しを行ないます。 | 手動での解除を行なうか、深夜時間終了時刻になると解除されます。 |
| 自動沸増し | 多　め | 常に300L程度のお湯を使用できるように、沸増しを行ないます。 | 手動での解除を行ないます。 |
| | ふつう | 常に200L程度のお湯を使用できるように、沸増しを行ないます。 | |
| | 少なめ | 常に100L程度のお湯を使用できるように、沸増しを行ないます。 | |

※上表で示す湯量は、43℃換算値です。

# 給湯機の湯沸しモードを設定する

給湯機が夜間に湯沸しを行なうモードを設定します。

| 湯沸しモード | 沸上げ温度目標 | 動作内容 |
|---|---|---|
| 標準 | 約75℃～約90℃※ | 過去7日分のお湯の使用量を学習し、「節約」よりも多めの湯量を確保するように湯沸しを行ないます。 |
| 節約（推奨） | 約65℃～約90℃※ | 過去7日分のお湯の使用量を学習し、最も省エネとなるように沸上げ温度と湯量を決定し、湯沸しを行ないます。（日々のお湯の使用量が大きく変動する場合は、お湯が不足することがあるので、自動沸増し（→14ページ）を設定することをおすすめします。） |
| 最高 | 約90℃※ | 季節に応じて、最高の沸上げ温度で全量お湯を沸します。 |
| 最低 | 約65℃ | 約65℃で全量お湯を沸します。 |

※ヒートポンプの性能により、夏場など給水温度が高いときは右図のグラフのように給水温度に応じて沸上げ温度の上限値が制限されます。

**お願い**

- 湯沸しモード「標準」・「節約」でご使用の場合、来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に湯沸し設定を「最高」に設定してください。
- お湯が足りなくなったときは、沸増しをご利用ください。
- 「節約」設定で頻繁にお湯が足りなくなるときは、湯沸しモードを「標準」または「最高」に設定してください。

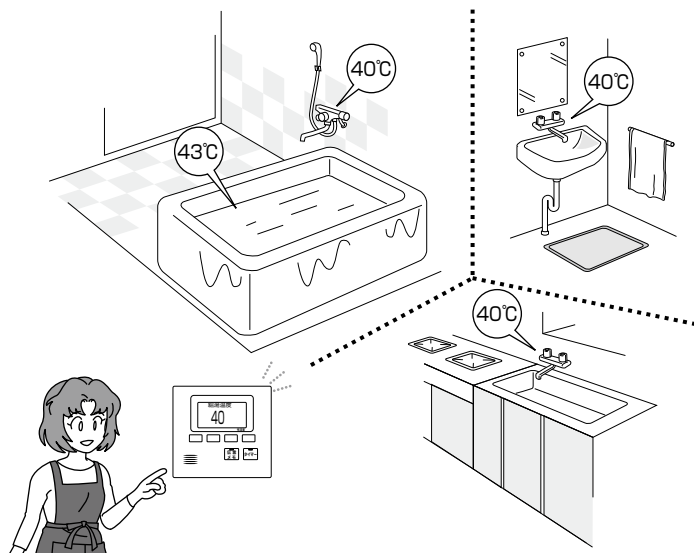
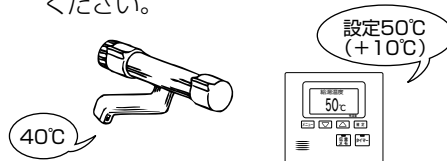
**お知らせ**

- タンク内の湯温は時間の経過とともに少しずつ（1時間に約0.5℃～1℃）低下しますので、お湯を使用していないときでも残湯量表示が減ることがあります。
- 湯沸し設定を「標準」または「節約」でご使用の場合は、お湯の使用量が少ないときに翌朝の残湯量表示が全て表示しないことがあります。（「標準」または「節約」設定は、必要な分だけしかお湯を沸しません。）
- 「メニュー」スイッチを押すたびに前回表示していた画面へ戻り、通常時の表示まで戻ることができます。
- スイッチが1分以上押されないときは、通常時の表示に戻ります。

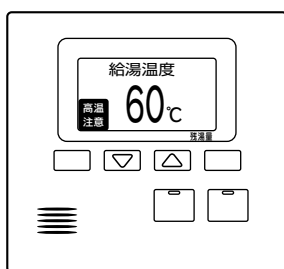
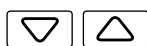
# 給湯温度を設定する

台所、洗面所、シャワーなどの給湯温度（最高温度）をまとめて設定できます。

| お買い上げ時の設定…45℃ |
|---|
| 設定できる温度………水／35℃～50℃(1℃刻み)／60℃ |

⚠警告
●給湯温度の変更は、他の蛇口の使用状況を確認してから行なう（ やけどの原因）
●浴室でシャワーを使用しているときは、給湯温度の変更をしない（ やけどの原因）

お願い ●サーモスタット付湯水混合栓の場合はリモコンの給湯温度の設定を使用するお湯の温度より約10℃高く設定してください。

例）40℃で使用する場合は50℃に設定します。

お知らせ ●使用する蛇口によっては、給湯量が少なくなることがあります。その場合は給湯温度の設定を60℃にしてご使用ください。

## 1.台所リモコンで給湯温度を設定する。

1 ▽ △ を押して温度を設定する

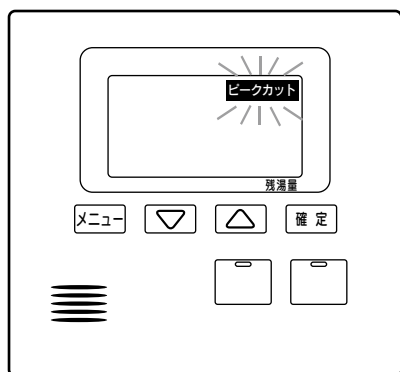
給湯温度が変更されました

お知らせ
●給湯温度を60℃に設定した場合、台所リモコンに「高温注意」が表示され音声で「熱いお湯が出ます。ご注意ください」とお知らせします。
●給湯温度が変更されると音声でお知らせします。給湯温度の表示を確認し、お湯を使用してください。
●給湯口から出るお湯は、配管材の放熱によって低くなることがあります。
●目の不自由な方へお知らせするために給湯温度を40℃にしたときのみ、異なる操作音が鳴ります。

# ピークカット設定をする

電力需要量の多い時間帯に節電をしたい場合、ご指定の時間帯において「自動沸増し」を停止することが出来ます。ピークカットを設定した場合でも「強制沸増し」および深夜時間帯の通常の湯沸しは動作します。

| お買い上げ時の設定･･･切 |
| --- |
| ピークカット時刻設定初期値･･･13:00～16:00 |
| 選べる設定･････････････切<br>0:00～23:00 |

台所リモコン

お知らせ

- ピークカット中は台所リモコンの表示に「ピークカット」が表示されます。
- 電力契約モードを「ピークシフト」に設定した場合は「ピークカット」が設定されます。ピークカットをご利用にならない場合は設定を解除してください。
- 初回の電力契約設定で「ピークシフト」以外を選択した場合、ピークカットは「切」となります。
- 電力契約モードを変更される場合は、ピークカットの「入」「切」設定をご確認のうえご使用ください。
- 電力契約モードを変更された場合、変更前のピークカットの内容が設定されたままとなります。
- ピークカットを設定変更する場合は本ページの【設定方法】に従って行なってください。

【設定方法】

1 通常時の表示のときに

を押す

<表示内容>

2  を5回押して「その他設定」に合わせ

<表示内容>

確 定 を押す

3  を3回押して「ピークカット設定」に合わせ

<表示内容>

を押す

4  で「設定」に合わせ

<表示内容>

を押す

※ピークカット設定を解除する場合は「切」を選択してください。

5  で開始・終了時刻を合わせ

<表示内容>

それぞれ合わせたあとに

を押す

※それぞれ合わせた後に、確定スイッチを押さなければ、次に進みません。

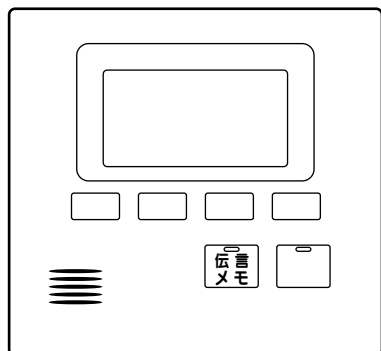
# 音声を録音/再生/消去する（伝言メモ）

台所リモコンに音声を録音でき、聞きたいときに再生できます。
録音できる音声は３０秒間・１件です。

## 音声を録音する

台所リモコン

**1** 通常時の表示のときに

を押す

＜表示内容＞

伝言メモ録音
メモ　　未使用

**2** ブザーのあとに、台所リモコンにむかって用件を30秒以内で話してください。

＜表示内容＞

**3** 用件を話し終えたら、ふたたび

を押す

＜表示内容＞

伝言メモ録音
メモ　5/22　14:30に
録音されました

**お願い**

- 用件を話すときは、台所リモコンにむかって約30cm程度の距離で話してください。
- 録音できる件数は１件です。違う用件を録音したいときは、用件を消去してから再度録音してください。

**お知らせ**

- 用件が録音されているときは、伝言メモスイッチのランプが点滅しています。

## 音声を再生/消去する

**1** 通常時の表示のときに

を押すと再生画面に変わり再生を開始します

＜表示内容＞

伝言メモ再生　2
メモ　5/22　14:30
▼　▲

**2** 再生終了後、自動的に消去画面に切替わります

＜表示内容＞

伝言メモ消去
メモ　5/22　14:30を
消去しますか？
中止　はい

**3** 再生したメモを消去したいときは、

を押すと消去します

＜表示内容＞

伝言メモ消去
消去中

再生したメモをそのまま残すときは、

を押すと元の画面に戻ります

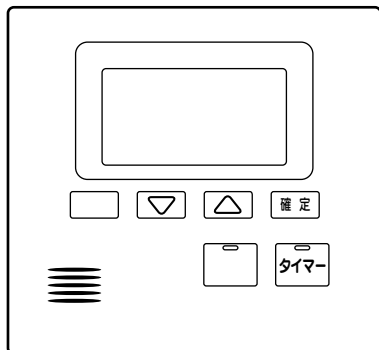
「伝言メモ」スイッチでも操作できます。

**お知らせ**

- 伝言メモ再生中に「▽」、「△」スイッチで音量を調節できます。「選択範囲…1(小)／2(中)／3(大)」
- 再生中に「伝言メモ」スイッチを押すと再生を途中終了できます。

# タイマーをつかう

台所リモコンでタイマーを使うことができます。
タイマー設定時間は、1秒単位で99分59秒まで設定できます。

台所リモコン

【設定方法】

1 通常時の表示のときに タイマー を押す

<表示内容>

2 ▽ △ でタイマー時間（分）を設定して

<表示内容>

タイマー時間設定
3分00秒
戻る ▼ ▲ 次へ

確定 を押す

3 ▽ △ でタイマー時間（秒）を設定して

<表示内容>

タイマー時間設定
3分00秒
戻る ▼ ▲ 開始

確定 を押す

〈タイマー起動中の表示状態〉

タイマー残り時間表示

※あらかじめ設定されたタイマー時間を再度使用したい場合は、タイマースイッチを2回押します。

通常時の表示のときに

を2回押す

【解除方法】

1 通常時の表示のときに タイマー を押す

お知らせ
●設定時間が過ぎると呼び出し音でお知らせします。
●一度タイマー時間を設定すると、その後は設定時間が記憶されます。

# お湯の使いすぎをふせぐ（湯量通知）

台所リモコンの設定により、「連続出湯量」または「定量止水栓」のどちらかを選択できます。
　連続出湯量・・・あらかじめ設定した湯量（10～400L)が連続で使用されると
　　　　　　　　　ブザーでお知らせします。
　定量止水栓・・・別売りの定量止水栓を使用すると湯はり完了のお知らせをメロディーと音声で
　　　　　　　　　お知らせします。
いずれもご使用にならない場合は「切」に設定してください。

## 湯量通知を設定する

湯量通知設定

| お買い上げ時の設定･･･切 | |
|---|---|
| 選べる設定･････････････ | 定量止水栓 |
| | 連続出湯量（初期値100L） |
| | 切 |

台所リモコン

<設定方法>

1　通常時の表示のときに
　メニュー を押す

<表示内容>
▶強制沸増し　切
湯沸し　節約
自動沸増し　切
戻る ▼ 確定

2　▽ 5回押して「その他設定」に合わせ
　確定 を押す

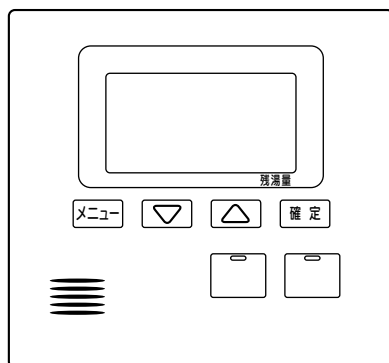
<表示内容>
操作ロック
停止日数　0日
▶その他設定
戻る ▲ 確定

3　▽ を5回押して「湯量通知」に合わせ
　確定 を押す

4　▽ △ で「連続出湯量」及び「定量止水栓」を選び
　確定 を押す

<解除方法>

1　設定方法の項目1から項目3の操作を行なう

2　▽ △ で「切」を選び
　確定 を押す

**お知らせ**

- ●出湯中は台所リモコンの通常時の表示に「 」のマークが点灯します。
- ●台所リモコンで設定された給湯温度の湯量が、連続して出湯したときにブザーでお知らせします。
  また、設定湯量通知後さらに30秒出湯した場合は、再度ブザーでお知らせします。
- ●湯水混合栓を使用する場合は次の点にご注意ください。
  - 給湯機から出湯する量を計測しているため、湯水混合栓を水にして使用する場合はお知らせしません。
  - リモコンで設定された給湯温度が湯水混合栓よりも高い場合は、設定湯量よりも多く出湯します。

| 湯量通知項目 | できること |
|---|---|
| 連続出湯量 | 給湯機から出たお湯の量が設定量に達すると、ブザーでお知らせします。（お湯の供給は自動で停止しません） |
| 定量止水栓 | 別売部品の定量止水栓（TG0467）をご利用になると、浴槽の湯はり完了をメロディーと音声でお知らせします。（定量止水栓で湯はりが自動停止します） |

# 設定した湯量で通知する

台所リモコンであらかじめ設定された湯量が、蛇口やシャワーから連続して出湯されると、ブザーでお知らせします。
湯量通知設定で「連続出湯量」を設定されたときにご利用いただけます。

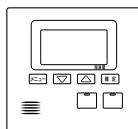
<操作方法>

1 湯水混合栓を開きます

2 設定された量が連続で出湯すると台所リモコンからブザーでお知らせします
- お湯の供給は自動で停止しませんので、お好みの湯量に応じて湯水混合栓を閉めてください。

**お知らせ**

●湯水混合栓を使用する場合は次の点にご注意ください。
- 給湯機からでる湯量を計測しているため、湯水混合栓を水にして使用する場合はお知らせしません。
- 一旦湯水混合栓を閉めると再び出湯量を計測します。
- 台所リモコンで設定された給湯温度が湯水混合栓よりも高い場合は、設定湯量よりも多く出湯します。
- 給水温度によっては湯水混合栓からの出湯量は増減します。

（例）

# 通知する湯量を変更する

「連続出湯量」を設定すると、通知する湯量が選択できます。

連続出湯量設定

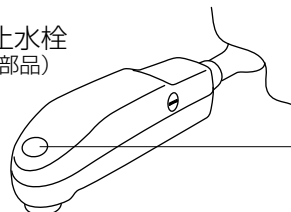
| お買い上げ時の設定・・・100L |
|---|
| 選べる設定・・・・・・・・・・・・・10〜400L（10L刻み） |

<設定方法>

1 湯量通知設定（20ページ）の設定方法で「連続出湯量」を選び 確定 を押す

2 ▽ △ でお好みの通知する湯量を選び

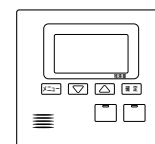
# 定量止水栓で湯はりする

別売部品の定量止水栓（TG0467）で湯はりをします。
湯量通知設定で「定量止水栓」を設定されたときにご利用いただけます。

<操作方法>

1 浴槽の排水栓を閉じてください

2 給湯温度を確認してください

3 定量止水栓の 出/止 を押す
- 湯はりが開始します。

4 お湯はりが完了すると台所リモコンからメロディーと音声でお知らせします
- 定量止水栓で設定した出湯量に応じて自動で出湯が停止します。
- 音声案内が「切」の場合は、メロディーだけでお知らせします。

**お知らせ**

●定量止水栓の湯はり量設定など、操作方法については、定量止水栓に同梱の取扱説明書を参照してください。
●給湯温度は季節や配管状態により、リモコンの設定温度と定量止水栓の表示湯温が異なる場合があります。
表示湯温は目安です。
●配管が冷めているときは、お湯はり開始後しばらくの間、水が出ます。
●お湯はり中に台所などで給湯するとお湯はり完了のお知らせをしないことがあります。

# その他の設定

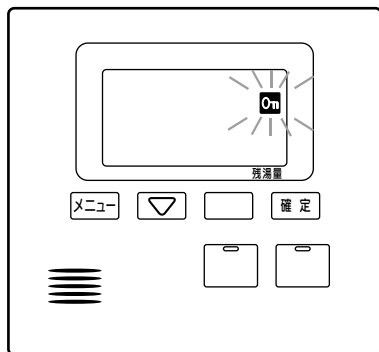
## 誤操作を防ぐ（操作ロック）

台所リモコンの設定内容を誤って変更されるのを防ぎます。（操作ロック中は前の設定によって動作します）

台所リモコン

<設定方法>

1 通常時の表示のときに

を押す

<表示内容>

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | 強制沸増し | 切 |
| | 湯沸し | 節約 |
| | 自動沸増し | 切 |
| 戻る | ▼ | 確定 |

2 ▽を３回押して「操作ロック」に合わせ

<表示内容>

| | | |
|---|---|---|
| | 自動沸増し | 切 |
| ▶ | 操作ロック | |
| | 停止日数 | 0日 |
| 戻る | ▼ ▲ | 確定 |

確定を押す

※操作ロック中にスイッチを押すと次の画面が表示されます。

<表示内容>

| 操作ロック中 |
|---|
| メニュー3秒押しで<br>解除できます。 |

<解除方法>

1 メニューを３秒以上押す

<表示内容>

| 操作ロック |
|---|
| 操作ロックが<br>解除されました。 |

**お知らせ**

- ●操作ロック中は台所リモコンの表示部に「 O₸ 」のマークが点灯します。
- ●操作ロック中でも、下記の機能はご使用できます。
  - • タイマー機能　　• 伝言メモ機能

## 音声案内を設定する

台所リモコンのスイッチを押したときに操作を案内する音声を消すことができます。

| |
|---|
| お買い上げ時の設定･･･入 |
| 選べる設定･･････････････入／切 |

台所リモコン

1 通常時の表示のときに

メニューを押す

<表示内容>

| | | |
|---|---|---|
| ▶ | 強制沸増し | 切 |
| | 湯沸し | 節約 |
| | 自動沸増し | 切 |
| 戻る | ▼ | 確定 |

2 ▽を５回押して「その他設定」に合わせ

確定を３回押す

<表示内容>

| | | |
|---|---|---|
| | 操作ロック | |
| | 停止日数 | 0日 |
| ▶ | その他設定 | |
| 戻る | ▲ | 確定 |

3 ▽ △で音声案内の入／切を選び

確定を押す

<表示内容>

| 音声案内設定 | |
|---|---|
| ▶ | 入 |
| | 切 |
| 戻る ▼ | 確定 |

**お知らせ**

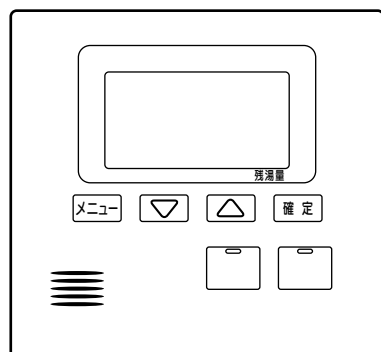
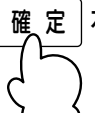
- ●「メニュー」スイッチを押すたびに前回表示していた画面へ戻り、通常時の表示まで戻ることができます。
- ●スイッチが1分以上押されないときは、通常時の表示に戻ります。

# 音量を調節する

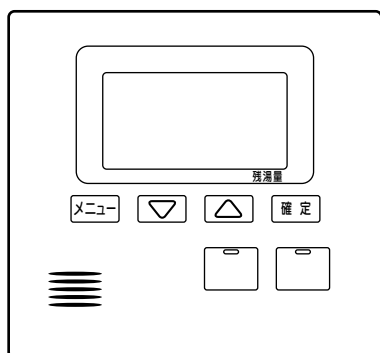
台所リモコンのスイッチを押したときにでる操作音と音声案内の音量を調節することができます。

## ●台所リモコンの音量を設定する

| お買い上げ時の設定･･･2(中) |
|---|
| 選べる設定･････････････1(小)／2(中)／3(大) |

台所リモコン

# リモコンのコントラストを調整する

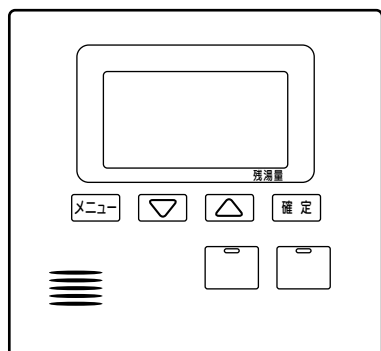
台所リモコンの表示部が見えにくいときに、表示画面のコントラストを調整することができます。

| お買い上げ時の設定・・・0 |
|---|
| 選べる設定・・・・・・・・・・・・・・－3(薄)～＋3(濃) |

お知らせ

- ●コントラストとは、表示画面の最も明るい部分と暗い部分の差をあらわします。
- ●「メニュー」スイッチを押すたびに前回表示していた画面へ戻り、通常時の表示まで戻ることができます。
- ●スイッチが1分以上押されないときは、通常時の表示に戻ります。

# リモコンの表示を消す（表示節電）

台所リモコンを使用しないときに、バックライトを消灯します。

| お買い上げ時の設定･･･入 |
| --- |
| 選べる設定･････････････入／切 |

台所リモコン

**1** 通常時の表示のときに
メニュー を押す

＜表示内容＞

▶ 強制沸増し　切
湯沸し　節約
自動沸増し　切
戻る　▼　確定

**2** ▽ を5回押して「その他設定」に合わせ

＜表示内容＞

操作ロック
停止日数　0日
▶ その他設定
戻る　▲　確定

確 定 を2回押す

**3** ▽ を3回押して「表示節電」に合わせ

＜表示内容＞

音量　レベル 2
コントラスト　0
▶ 表示節電　切
戻る　▲　確定

確 定 を押す

**4** ▽ △ で入／切を選び

＜表示内容＞

表示節電設定
入
▶ 切
戻る　▲　確定

確 定 を押す

設定されました

お知らせ

●表示節電中でも次の場合は表示が点灯します。
- 給湯温度設定が60℃でお湯を使用したとき
- スイッチを押したとき

●一度表示が点灯し、再度消灯するまでの時間は1分です。
●「メニュー」スイッチを押すたびに前回表示していた画面へ戻り、通常時の表示まで戻ることができます。
●スイッチが1分以上押されないときは、通常時の表示に戻ります。

# ある期間給湯機の湯沸しを停止するとき

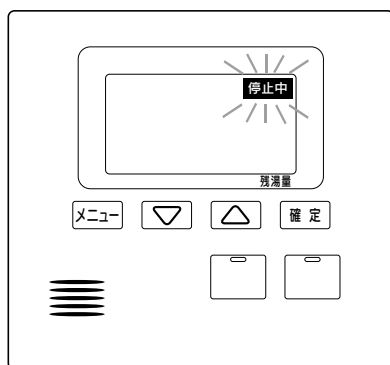
旅行などで数日間お湯を使用しないときに、給湯機の湯沸しを停止させることができます。

| お買い上げ時の設定……0日 |
|---|
| 設定できる範囲…………0日～15日(1日刻み) |

## 湯沸し停止日数のきめ方

例）10月1日に出発し、10月4日に帰宅する3泊4日の旅行の場合

3泊4日の旅行
└── 出発日（10月1日）に停止日数3－1＝2を設定
帰宅日（10月4日）には、朝からお湯が使用できます。

台所リモコン

<設定方法>

1 通常時の表示のときに メニュー を押す

2 ▽ を4回押して「停止日数」に合わせ

確定 を押す

3 ▽ △ で停止する日数に合わせ

確定 を押す

お知らせ

- 「停止日数」が設定されると台所リモコンに「停止中」の文字が表示されます。
- 「メニュー」スイッチを押すたびに前回表示していた画面へ戻り、通常時の表示まで戻ることができます。
- スイッチが1分以上押されないときは、通常時の表示に戻ります。
- 停止日数を設定していても凍結防止運転（→29ページ）が動作することがあります。
- 停止日数を設定した状態で、強制沸増しを設定した場合、強制沸増しが優先されます。

<解除方法>

1 設定方法の項目1から項目2の操作を行なう

2 ▽ △ で日数に0日に合わせ

確定 を押す

# 長期間使用しないとき

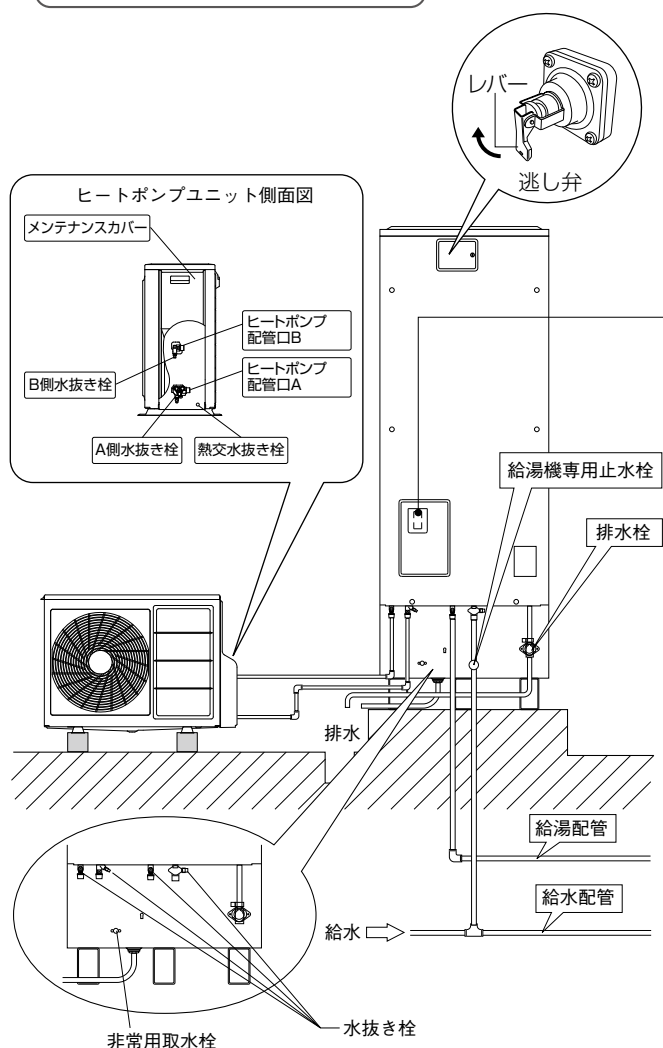
1か月以上、給湯機を使用しないときは、運転を止めタンクの水を抜きます。

**操作の前に**

台所リモコンの通常時の表示に「沸上中」または「エア抜中」が表示されていないことを確認してから操作してください。
「沸上中」が表示されているときは、凍結防止運転（→29ページ）で「切」を設定し、停止日数設定（→26ページ）で「1日」を設定してください。
「エア抜中」が表示されているときは、空気抜き運転（→10ページ）を「切」に設定してください。

**⚠ 注意**

1か月以上使用しないときは、タンクの水を抜いてください。水質が変化することがあります。

レバー
逃し弁
ヒートポンプユニット側面図
メンテナンスカバー
ヒートポンプ配管口B
ヒートポンプ配管口A
B側水抜き栓
A側水抜き栓
熱交水抜き栓
給湯機専用止水栓
排水栓
排水
給湯配管
給水配管
給水
水抜き栓
非常用取水栓

**1** タンク内のお湯を水にするために湯水混合栓を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出す
（湯水混合栓をお湯側にして開いてください）
（お湯を出すときは、火傷に注意してください）
（お湯が出なくなったら、湯水混合栓を閉じてください）

**2** 本体の漏電しゃ断器のレバーを「OFF」にする

**3** 給湯機専用止水栓を閉じる
（貯湯ユニットへの給水を止めます）

**4** 逃し弁のレバーを上げる
（貯湯ユニットに空気を取り入れます）

**5** 排水栓を開く
（貯湯ユニットの水を抜きます）
（逃がし弁のレバーは再び使用するときまで下げないでください）

**6** 貯湯ユニットの水抜き栓(4か所)、非常用取水栓を開く
（貯湯ユニット正面の下部についている配管用の水抜き栓、非常用取水栓を開きます）

**7** ヒートポンプユニットのメンテナンスカバーをはずす

**8** ヒートポンプユニットの熱交水抜き栓を開く
（ヒートポンプユニットの水を抜きます）

**9** ヒートポンプユニットのA側およびB側水抜き栓を開く
（ヒートポンプユニットの水を抜きます）

**お願い**
- 排水直後に逃し弁のレバーを下げないでください。タンクが破損することがあります。
- 水を抜くときはあついお湯がでることがあります。やけどに注意し、ゆっくりと栓を開いてください。
- 排水が終わったら、すべての栓を閉じてください。

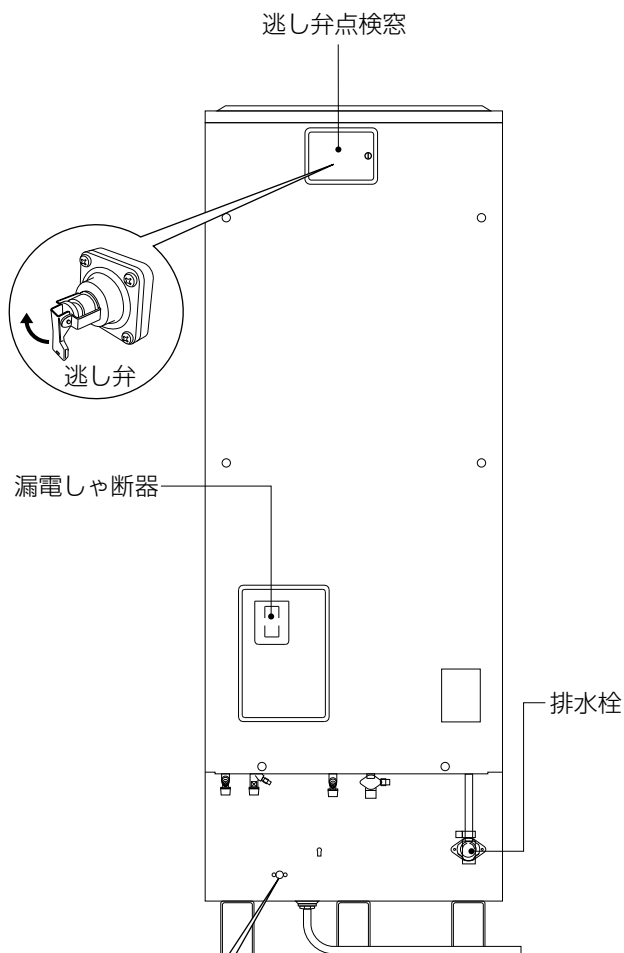
## 再び使用するとき…

すべての栓を閉じていることを確認し、準備（→9ページ）の手順を行なってください。

# 万一の災害時には（非常用取水栓の使い方）

断水時や万一の地震などの災害時はタンクのお湯（水）を生活用水（飲用は不可）として利用できます。

**操作の前に**

台所リモコンの通常時の表示に「沸上中」または「エア抜中」が表示されていないことを確認してから操作してください。
「沸上中」が表示されているときは、凍結防止運転（→29ページ）で「切」を設定し、停止日数設定（→26ページ）で「1日」を設定してください。
「エア抜中」が表示されているときは、空気抜き運転（→10ページ）を「切」に設定してください。

**⚠ 注意**

取水時は、やけどに注意する
最初は水がでてきますが、熱湯がでてくることがあります。

1 漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にする

2 給湯機専用止水栓を閉じる
（給湯機への水の供給を止めます）

3 逃し弁のレバーを上げる
（タンクへ空気を取り入れます）

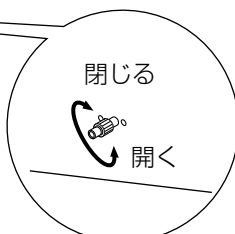
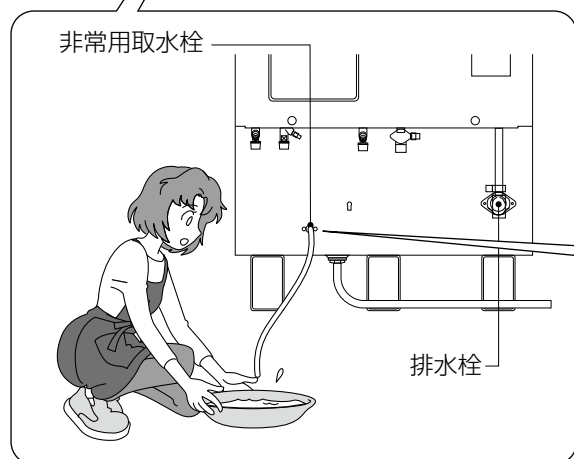
4 付属のホースを非常用取水栓に差し込む
（ホースは取扱説明書と一緒に梱包されています）

5 非常用取水栓を左に回し開き、タンクのお湯（水）をバケツ等で受ける
（その際排水栓は開かないでください）

**お願い**

- 水をとり出すときはあついお湯がでることがあります。やけどに注意し、ゆっくりと非常用取水栓を開いてください。
- 取水が終了したら非常用取水栓を右に回し閉じて、逃し弁のレバーを下げてください。
- 汚れた水が出る場合は、汚れた水をしばらく流してご使用ください。

## 再び使用するとき

逃し弁のレバーを下げ、非常用取水栓が閉じていることを確認してから、準備（→9ページ）の手順を行なってください。

# 凍結防止をする

本体周辺の温度が0℃以下になると配管が凍結し、本体や配管が凍結することがあります。凍結のおそれがある場合は、必ず凍結防止ヒーターによる凍結防止（→30ページ）も行なってください。

## 凍結防止運転の設定

凍結防止運転を台所リモコンで設定します。

| お買い上げ時の設定・・・入 |
|---|
| 選べる設定・・・・・・・・・・・・・・入／切 |

〈設定方法〉

1 通常時の表示のときに

を押す

<表示内容>

2 を５回押して「その他設定」に合わせ

を押す

<表示内容>

3 を７回押して「凍結防止運転」に合わせ

を押す

<表示内容>

4 で「入」を選び

<表示内容>

を押す

〈解除方法〉

1 設定方法の項目1から項目3を行なう

2 で「切」を選び

を押す

お知らせ

- ●「メニュー」スイッチを押すたびに前回表示していた画面へ戻り、通常の表示まで戻ることができます。
- ●スイッチが1分以上押されないときは、通常の表示に戻ります。

凍結防止運転の設定が終わると、凍結防止運転が始まります。
外気温が低くなると、ヒートポンプユニットを動作させ、ヒートポンプ配管の凍結を防止します。

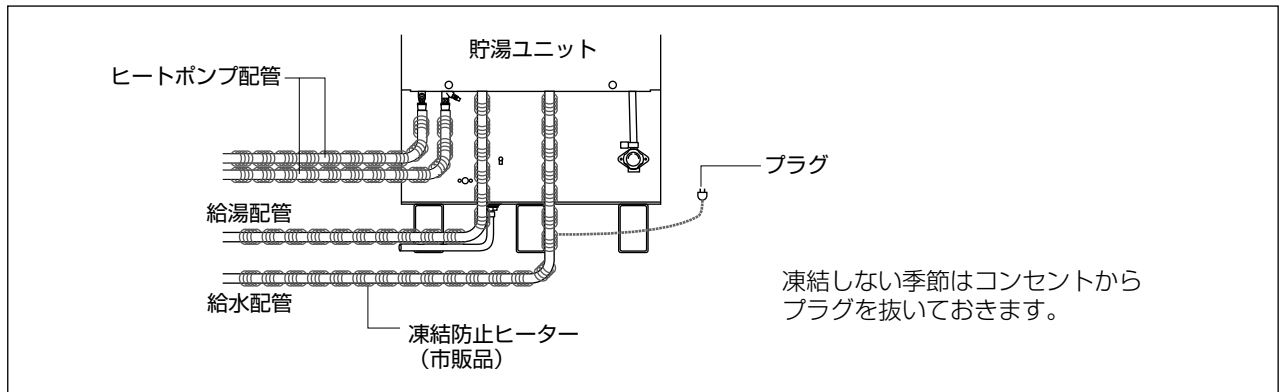
お知らせ

- ●停止日数を設定しているときや沸増しを設定していないときでも、凍結防止運転のためヒートポンプユニットが動作することがあります。
- ●凍結防止運転を使用しないときは「切」に設定してください。ただし凍結するおそれがありますのでご注意ください。

## 凍結防止ヒーター(市販品)を使う

凍結防止ヒーターが図のように巻かれているか確認します。
使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。

⚠ 注意

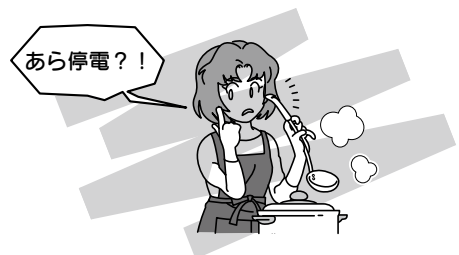
凍結防止対策の確認をする
凍結するとタンクや配管が破裂して、水漏れでやけどをすることがあります。

お願い

●配管が凍結した場合は、気温の上昇により自然解凍されるまでお待ちください。
●配管の破裂・水漏れがある場合は給湯機専用止水栓を閉じて販売店(据付工事店)へご連絡ください。

# 停電したとき

この給湯機にはメモリ機能が内蔵されています。停電になった場合でも、一週間は時刻や設定値を記憶しています。

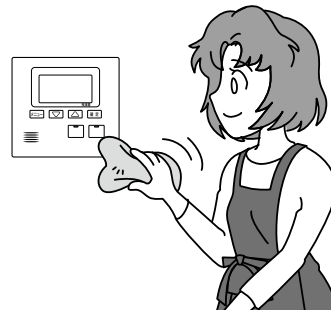
お願い

●場合によっては時刻がずれたり、設定値が変わることがありますので、停電復帰後、必ず時刻や設定が変わっていないか確認し、変わっている場合は再度設定してください。(→11ページ)
●停電中は給湯温度をコントロールできないため、蛇口よりお湯が出ません。(水が出ることがあります)

# 点検とお手入れ

## 日常のお手入れ：台所リモコンのお手入れ

乾いた布で拭くか、台所用洗剤をうすめて布に含ませて拭いてください。

お願い

●ベンジンやシンナーなどの溶剤で拭くと変形や変色をおこすことがあります。
●台所リモコンには、水や汚水をかけないでください。
●台所リモコン内部には電気部品が入っているので、絶対にぬらさないでください。

## 年に2～3回：漏電しゃ断器の動作点検

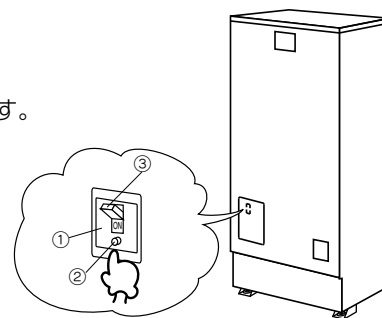
漏電しゃ断器の機能を十分に働かせるために、年に2～3回は動作テストを行なって、正しく動作することを確認してください。

**操作の前に**

台所リモコンの通常時の表示に「沸上中」または「エア抜中」が表示されていないことを確認してから操作してください。
「沸上中」が表示されているときは、凍結防止運転（→29ページ）で「切」を設定し、停止日数設定（→26ページ）で「1日」を設定してください。
「エア抜中」が表示されているときは、空気抜き運転（→10ページ）を「切」に設定してください。

手順は次の通りです。
（1）貯湯ユニット正面の操作カバーを開けてください。
（2）左側にある漏電しゃ断器①の、テストボタン②を押してください。
　　漏電しゃ断器のつまみ③が、「ON」から「OFF」に切り換われば正常です。
（3）つまみ③を「ON」に戻してください。
（4）操作カバーを閉めてください。

**⚠ 警告**

漏電しゃ断器の動作を確認する（感電の原因）

## 年に2～3回：逃し弁の点検（→5ページ）

水漏れ点検と動作点検を行ないます。

### 水漏れ点検

#### 沸上げをしていないときに、排水口から水（お湯）が出ていないかを確認する

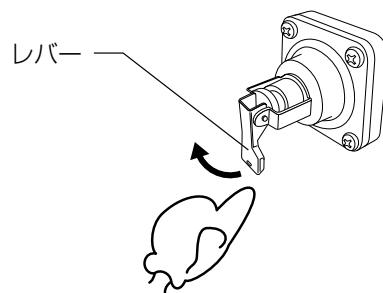
水（お湯）が出ていなければ正常です。
水が出ている場合は、レバーを数回、上下に動かします。それでも、水が止まらない場合は、給湯機専用止水栓を閉じ、配線用しゃ断器または漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にして販売店（据付工事店）にご連絡ください。

**⚠ 警告**

逃し弁点検時は、逃し弁排水管に手を触れない
（やけどの原因）

### 動作点検

長い間ご使用になりますと、水アカ、ゴミ等が弁の部分に付着し、弁が閉まりきれずに水漏れすることがありますので、定期的に洗い流してください。

手順は、次の通りです。
（1）レバーを2～3度上げ下げして、水またはお湯を流してください。
（2）レバーを元に戻して、弁を閉めてください。
（3）水またはお湯が止まっているのを確認してください。

**⚠ 注意**

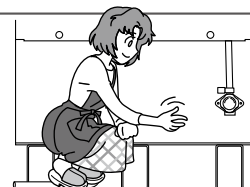
逃し止弁の点検をする
タンクや配管が破裂してやけどの原因になります。

## 年に2～3回：タンクのお手入れ（→5ページ・6ページ）

長い間ご使用になりますと、タンクの底に水アカや沈殿物がたまります。
常にきれいなお湯をご使用いただくために、タンクのお手入れをしてください。

**操作の前に**

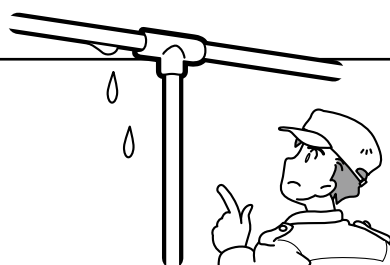
台所リモコンの通常時の表示に「沸上中」または「エア抜中」が表示されていないことを確認してから操作してください。
「沸上中」が表示されているときは、凍結防止運転（→29ページ）で「切」を設定し、停止日数設定（→26ページ）で「1日」を設定してください。
「エア抜中」が表示されているときは、空気抜き運転（→10ページ）を「切」に設定してください。

手順は、次の通りです。
（1）給湯機正面にある操作カバーを開けて、漏電しゃ断器を「OFF」にしてください。
（2）給湯機専用止水栓を閉めてください。
（3）逃し弁のレバーを引き上げてから、排水栓を開けてください。
（熱湯が出てくる場合がありますので、ご注意ください）
（4）1～2分たったら排水栓を閉めて、給湯機専用止水栓を開けてください。
（5）しばらくして逃し弁からお湯が出始めたら、レバーを元に戻してください。
（6）漏電しゃ断器を「ON」にして、操作カバーを閉めてください。

**⚠ 警告**

排水時はお湯に手を触れない
（やけどの原因）

## 配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。
水漏れが生じている場合は、販売店（据付工事店）にご連絡ください。

特に冬期に入る前には、必ず保温材のチェックを行なってください。
破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

**お願い**

●本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、給湯機専用止水栓を閉じ、配線用しゃ断器または漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にして販売店（据付工事店）へご連絡ください。

**⚠ 注意**

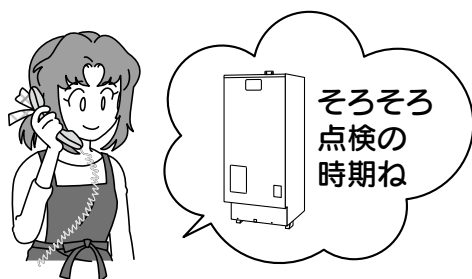
配管を点検する
マンションなど、中、高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

# 定期点検のおすすめ（有料）

ユノカエコキュートを長期にわたり安心して快適にご使用いただくために、3～4年に一度定期点検（有料）を行なってください。

●定期的に交換が必要な部品や設置条件や使用条件、特殊環境によって部品交換が必要なものは、有料で交換します。

●お申し込みは、販売店（据付工事店）に申し出ください。

## 定期点検の主な内容

| 項　目 | 内　容 |
|---|---|
| 据付け状態 | 設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認 |
| 機 能 部 品 | 電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）などの点検 |
| 清　　掃 | タンク内の清掃（沈殿物の除去など）<br>給水配管口のフィルターの清掃 |

## 消耗部品の交換

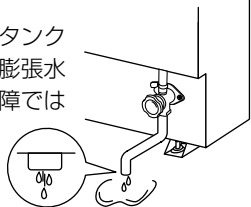
下記の部品は消耗品です。交換の際は、当社純正部品をご指定ください。

〈消耗部品〉●逃し弁　●減圧弁　●パッキン類　●給湯混合弁　●逆止弁

# 故障かなと思ったら

## こんなときは故障ではありません

### 沸上げ中に膨張水排水口から水(湯)が出ている

「沸上中」が点灯しているときは、タンク内の水が膨張し、逃し弁が作動して膨張水排水口より徐々に水が出ますので故障ではありません。

### 台所・浴室リモコンの時刻表示が --:-- で点滅している

11ページの「日時を合わせる」に従って現在時刻を設定してください。

### 深夜通電時間になってもすぐに「沸上中」が表示されない

通電制御型給湯機は、温度の低下を少なくするために深夜の通電時間になってもすぐ通電しないときがあります。深夜の通電時間帯が終了する翌朝に合わせて沸上げを完了させます。ただし、昼間の残湯がある時は、通電終了時間よりも早く沸上がります。

### 設定湯温まで沸上がらない

以下のことを行なうと、設定温度まで沸上がらない場合があります。

①台所リモコンに「沸上中」が表示されているときにお湯を使用した場合
②夜間時間帯に沸上げ湯温を上げた場合
③給水水温が13℃以下、残湯量0の場合

### 残湯量表示が全て表示しない

湯沸し設定を「標準」または「節約」でご使用の場合は、必要な分しかお湯を沸さないので、お湯の使用量が少ないとき（夏場など）に翌朝の残湯量表示が全て表示しないことがあります。

### ヒートポンプユニットが運転と停止を繰り返す

気温が低いとき、熱交換器の除霜を行なうためファンの運転と停止を繰り返します。
気温が低いとき、ヒートポンプ配管とヒートポンプ内部配管の凍結を防止するために、運転と停止を繰り返します。

### 浴槽の水が青く見える

地域の水質により、浴槽のお湯が青く見えることがあります。これは、配管（銅配管）から溶出したわずかな銅イオンとせっけんなどに含まれる脂肪酸が反応して生成されたもので人体に影響はありません。

### 沸上げ運転中にヒートポンプユニットの下部から水がでる

ヒートポンプユニットが大気から熱を吸収するときに、結露した水がでます。

### 沸上げ運転中にヒートポンプユニットの蒸発器が霜で白くなる

冬期運転中は、蒸発器に霜がつくことがあります。

### 昼間にヒートポンプユニットが動作する 停止日数を設定しているのにヒートポンプユニットが動作する

凍結防止運転（→29ページ）を設定すると、外気温が低くなったとき凍結防止のため、ヒートポンプユニットが動作することがあります。

## エラー表示（まずお客さまで確認してください）

リモコンの時計表示部が次のような場合は異常ではありません。症状を確認してお客さまで対応してください。お客さまで対応しても表示が消えないときは、すみやかに販売店（据付工事店）にご連絡ください。

| 表　示 | 異　常　内　容 | 処　　　置 |
| --- | --- | --- |
| E40 | タンク湯切れ | いつもより多くお湯を使用されていませんか？<br>給湯機の残湯が少ない状態です。翌朝（深夜湯沸し完了）までお待ちください。<br>すぐにお湯が必要なときは、沸増し（→13ページ）を行なってください。 |

## エラー表示

下記のエラー表示の場合は異常です。
すみやかに販売店（据付工事店）へご連絡ください。

| 表　示 | 異　常　内　容 | 処　　　置 |
| --- | --- | --- |
| E01<br>～<br>E39<br>E45<br>～<br>E63 | 貯湯ユニット関連の異常です | エラーの表示内容を控えていただき、販売店（据付工事店）へご連絡ください。 |
| H01<br>～<br>H32 | ヒートポンプユニット関連の異常です | エラーの表示内容を控えていただき、販売店（据付工事店）へご連絡ください。 |

# 故障かなと思ったら

販売店（据付工事店）に修理をご依頼される前に、起こっている現象別に次のようなことを調べてみてください。
給湯機は正常に動いていても、何か別の原因があって、故障しているように思える場合があります。
調べてみても原因がわからない場合や、下の表の通りに対応されても直らない場合は、販売店（据付工事店）に、点検・修理をご依頼ください。

| こんなとき | 調べること | 処 置 方 法 |
|---|---|---|
| お湯が沸かない（給湯栓からは水が出てくる）<br><br> | 台所リモコンは接続されていますか（液晶画面が表示していますか） | 販売店（据付工事店）へご連絡ください。 |
| | 台所リモコンで運転停止日数が設定されていませんか(停止中が表示されていませんか) | 「ある期間給湯機の湯沸しを停止する」の項を参照して運転停止日数を解除してください。（→26ページ） |
| | 台所リモコンの時刻表示が点滅していませんか | 点滅のままではお湯が沸きませんので、時刻を設定してください。（→11ページ） |
| | 貯湯ユニット点検窓の中の漏電しゃ断器が､「OFF」になっていませんか | 漏電しゃ断器を「ON」にしてください。(→5ページ)<br>※もし、漏電しゃ断器が何度も切れるようなら、点検をご依頼ください。 |
| | 給湯機用の配線用しゃ断器が、「OFF」になっていませんか | 給湯機用の配線用しゃ断器を「ON」にしてください。（→6ページ） |
| お湯が出ない（給湯栓からは水も出ない）<br> | 給湯機用の湯水混合栓が閉まっていませんか | 湯水混合栓を開けてください。（→6ページ） |
| | タンクは満水ですか | タンクを満水にしてください。（→9ページ） |
| | 給湯機専用止水栓が閉じている | 給湯機専用止水栓を開いてください（→6ページ） |
| | 断水していませんか | 断水中は、お湯が出ませんので断水が終わるまでお待ちください。 |
| | 給水管が凍結していませんか | 自然解凍するまでお待ちください。<br>配管の破裂や漏れがある場合は、販売店(据付工事店)へご連絡ください。 |

# 故障かなと思ったら

| こんなとき | 調べること | 処置方法 |
|---|---|---|
| 湯温が低い<br><br> | 湯沸し設定が「節約」になっていませんか | 「節約」運転にすると、お湯がいつも余る場合は、設定温度を順次下げていきます。<br>熱いお湯が必要な場合は、湯沸し設定を「最高」に設定してください。（→15ページ） |
| | 深夜時間帯中に、お湯を使用されませんでしたか | そのような場合は、沸上がらないことがあります。<br>深夜時間帯中には、なるべくお湯をご使用にならないでください。 |
| お湯が足りない<br> | お湯の使用量が、いつもより多くありませんか | 給湯機は貯湯量が決まっていますので、使い果たすと水しかでません。湯沸し設定を「最高」に変更してください。（→15ページ） |
| | 毎日の使用湯量が大きくばらつくのに、湯沸し設定が「節約」に設定されていませんか | 湯沸し設定を「最高」または「標準」に変更してください。（→15ページ） |
| | ピークカット設定をされていませんか | ピークカット中は「自動沸増し」は動作しません。ピークカット設定を「切」またはピークカット時刻を変更してください。（→17ページ） |
| お湯の出が悪い<br> | 給水配管口に内蔵したストレーナーが、つまっていませんか | 清掃は、販売店（据付工事店）にご依頼ください。 |
| | 他の場所でも同時に、お湯を使っていませんか | 何か所も同時に使うと、1か所当たりの流量は少なくなります。お湯の出を良くしたいときは、他の蛇口を止めてください。<br>※お湯の流量は、機器の設置場所や配管の口径、器具の種類等により、ほぼ決まってしまいます。1か所だけ出しても流量が少ない場合は、次の機会に工事をやり直されることをおすすめします。 |
| 汚れたお湯が出る<br> | 断水や水道工事はありませんでしたか | 水をしばらく流して、きれいになってから、ご使用ください。 |
| | 定期的なタンクのお手入れは行なわれていますか | 「タンクのお手入れ」の項を参照して、タンクのお手入れを行なってください。（→32ページ） |
| 逃し弁からお湯がもれる<br>（沸上げ中にもれるのは、正常です） | 弁にゴミか何かはさまっていませんか | 「逃し弁の点検」の項を参照して、逃し弁の洗浄をしてください。（→32ページ） |

# 仕様

| 名称 | | | 自然冷媒$CO_2$家庭用ヒートポンプ給湯機　給湯専用タイプ | |
|---|---|---|---|---|
| システム | 品番 | | YU37NNFH-M17 | YU46NNFH-M18 |
| | 適用電力制度 | | 「季時別電灯／時間帯別電灯／ピークシフト電灯」対応通電制御型 | |
| | 定格電圧 | | 単相200V(50/60Hz) | |
| | 最大電流 | | 16A | 17A |
| | 沸上がり温度 | | 約65℃～約90℃ | |
| | 年間給湯効率(JIS)※1 | | 3.0 | 3.0 |
| | | 区分名 | 19 | 19 |
| | 給湯温度 | | 水・35℃～50℃(1℃刻み)・60℃ | |
| | 安全装置 | | 漏電しゃ断器、温度過昇防止装置、缶体保護弁 | |
| | 使用水 | | 水道水(井戸水、温泉水は使用不可) | |
| | 仕向地 | | 次世代省エネ基準Ⅳ地域以南 ※2 | |
| | 夜間消費電力量比率※3 | | 80 | |
| 貯湯ユニット | 貯湯ユニット品番 | | YTK37NB13 | YTK46NB13 |
| | タンク容量 | | 370L | 460L |
| | 定格消費電力(制御用) | | 11W(待機運転時3W) | |
| | タンク材質 | | ステンレス鋼板 | |
| | 配管口径 | | 給水配管口・給湯配管口:R3／4、排水配管口:Rc3／4、ヒートポンプ配管口:R1／2 | |
| | 最高使用圧力 | | 190kPa(減圧弁設定圧力:170kPa) | |
| | 外形寸法 | 幅 | 650mm | 650mm |
| | | 奥行 | 730mm(操作カバー部+20mm) | 730mm(操作カバー部+20mm) |
| | | 高さ | 1,847mm | 2,182mm |
| | 質量(満水時) | | 71kg(441kg) | 81kg(541kg) |
| | 据付場所 | | 屋外 | |
| | 付属部品 | | ゴムホース(非常用取水栓用)、上部振れ止め金具 | |
| ヒートポンプユニット | ヒートポンプユニット品番 | | YHD45N12 | YHD60N12 |
| | 中間期標準加熱能力／消費電力※5 ※6 | | 4.5kW／1.025kW | 6.0kW／1.365kW |
| | 中間期標準運転電流 | | 6.10A | 7.30A |
| | 冬期高温加熱能力／消費電力※4 ※5 ※7 | | 4.5kW／1.500kW | 6.0kW／2.000kW |
| | 設置可能最低外気温度 | | −10℃ | |
| | 配管口径 | | ヒートポンプ配管口:R1/2 | |
| | 外形寸法 | 幅 | 820mm(カバー部+80mm) | 820mm(カバー部+80mm) |
| | | 奥行 | 300mm | 300mm |
| | | 高さ | 650mm | 650mm |
| | 質量 | | 49kg | 51kg |
| | 運転音(中間期※6／冬期※7)※8 | | 38／43dB | 40／45dB |
| | 冷媒名(封入量) | | $CO_2$(0.825kg) | $CO_2$(0.700kg) |
| | 設計圧力(高圧／低圧) | | 14.0／8.5MPa | |
| | 据付場所 | | 屋外 | |
| | 付属部品 | | ドレンニップル | |
| 台所リモコン | | | 商品コード:TF0657　外形寸法:130mm(縦)×140mm(横)×23mm(奥行) | |

※1 年間給湯効率（JIS）は、日本工業規格JIS C 9220:2011の評価に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したもので年間給湯効率（JIS）として以下の式で求められます。
● 年間給湯効率（JIS）＝１年間に使用する給湯に係る熱量÷１年間に必要な消費電力量
地域や運転モードの設定、ご使用状況等により異なります。
算出条件：湯沸しモード「節約」、自動沸増しモード「少なめ」
●着霜期高温条件:外気温(乾球温度/湿球温度)2℃/1℃、水温5℃、沸上げ温度90℃
●給湯モード条件(冬期):外気温(乾球温度/湿球温度)7℃/6℃、水温9℃、沸上げ温度66℃(460Lタイプは沸上げ温度65℃)
●給湯モード条件(着霜期):外気温(乾球温度/湿球温度)2℃/1℃、水温5℃、沸上げ温度73℃(460Lタイプは沸上げ温度65℃)

※2 次世代省エネ基準Ⅳ地域：主に関東、東海、北陸、近畿、中国、四国、九州北部など。
また、最低気温が−5℃を下回る地域では、機器の性能を十分に発揮できないことがあります。

※3 一定条件のもとにヒートポンプ給湯機を一日運転したときの総消費電力量に対する夜間消費電力量の比率

※4 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。

※5 沸上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。

※6 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）16℃/12℃ 、水温　17℃、沸上げ温度65℃

※7 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/6℃、水温　9℃、沸上げ温度90℃

※8 運転音はJIS C9220:2011に準拠し、反射音の少ない無響室で測定した数値です。実際の据付状態では、反射音や周囲の騒音の影響により、この値より大きくなることがあります。

# 保証とアフターサービスについて

## 1.保証について

●この製品には保証書がついています。
●保証書はお買い上げ日や販売店（据付工事店）名などの所定事項の記入を確かめて、販売店よりお受け取り、大切に保存してください。
●保証内容及び保証期間は、保証書に記載してあります。

## 2.補修用性能部品の保有期間

●この製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後10年間保有しています。
（補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です）

## 3.修理を依頼されるときは

取扱説明書（本書）の「故障かなと思ったら」にしたがって調べてください。
それでも直らない場合には、まずお買い上げの販売店（据付工事店）へご相談ください。
お買い上げの販売店（据付工事店）が不明、または連絡がとれない場合は、ユノカコールセンターへご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定にしたがって、修理をいたします。その際は保証書をご提示ください。
●保証期間がすぎているときは
修理によって性能を維持できる場合には、ご希望により有料修理をさせていただきます。
●修理料金は
技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。
●ご連絡いただきたい内容は
故障の状況（できるだけ具体的に）・品番・お買い上げ日・ご住所・お名前・電話番号・訪問希望日。
※品番は、本体の銘板に記載されています。

**ユノカコールセンター**　電話受付:365日24時間

フリーコール　0120-911-365（無料）
（急でもいい　365日）

お問合せ窓口における個人情報のお取り扱いについて
当社は、お客さまからご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
①お問合せ（ご依頼）の対応並びに製品・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
②上記利用の目的のために、お問合せ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
③あらかじめお客さまからご了解いただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供、開示することはありません。
a. 修理・保守・工事のために、当社グループ会社、協力会社などに業務委託する場合
b. 法令等の定められた規定に基づく場合
④個人情報に関するご相談は、お問合せいただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検　**★長年ご使用の温水器の点検を！**　●この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後10年です。

| こんな症状はありませんか | ●こげ臭い　●設置場所が濡れている。　●お湯が早くなくなる。<br>●漏電しゃ断器が「切」になる。　●その他の異常や故障がある。 | ご使用中止 | このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故防止のために、漏電しゃ断器を切り、止水栓を閉じてから、必ず販売店（据付工事店）に点検・修理（有料）を依頼してください。 |
|---|---|---|---|

■営業部　〒811-3216 福岡県福津市花見が浜2丁目1番1号
TEL (0940)34-3252　FAX (0940)34-3253


2013.12